

学校運営協議会だより



令和7年5月21日 氏家小学校学校運営協議会

第1回学校運営協議会を開催しました

令和7年度第1回目の学校運営協議会を、5月13日(火)に氏家小学校図書室において開催しました。新しいメンバーが加わり、10名の委員でのスタートです。今年度の本校の学校運営協議会の会長は小堀良一さん、副会長は荒川明英さんが務めてくださることになりました。

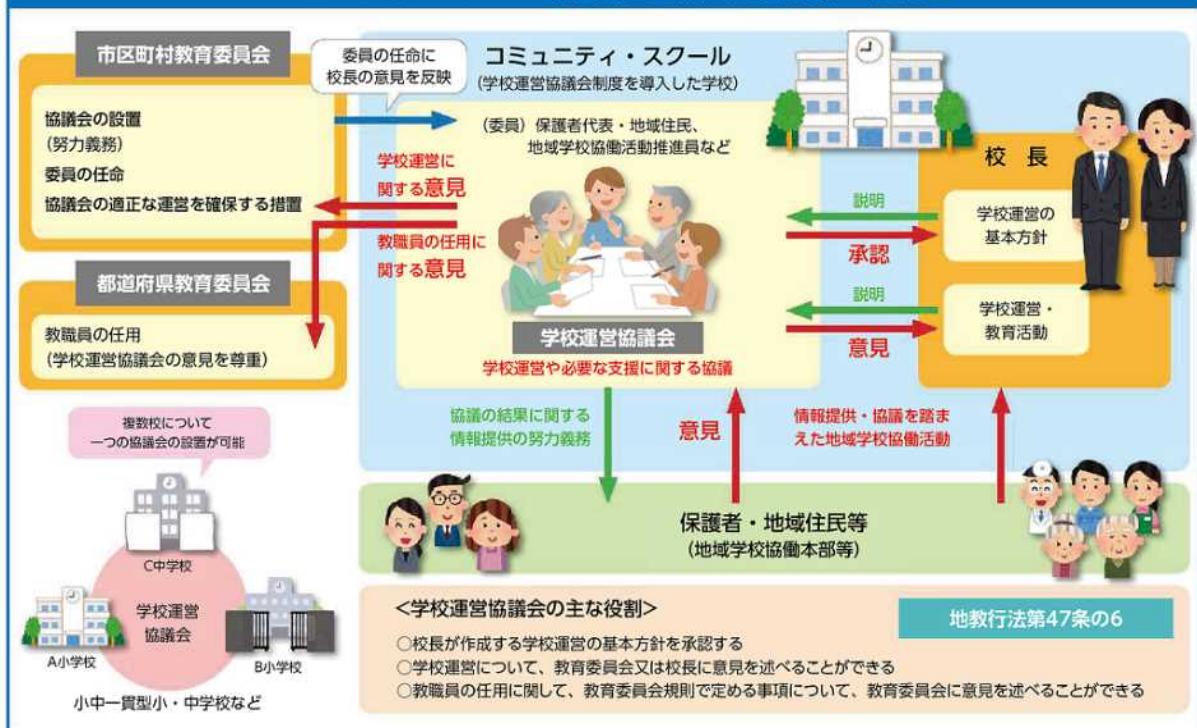
地域・家庭・学校が連携・協働し、子どもたちのためによりよい学校づくりを目指していくよう、熟議を重ねつつ活動していきます。



◆ 学校運営協議会について ◆

学校運営協議会は、学校と地域の方々が力を合わせて協働で学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」づくりのための会です。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことを目指しています。この学校運営協議会制度を導入している学校を「コミュニティ・スクール」と呼んでいます。さくら市(教育委員会)においても学校運営協議会の設置(コミュニティ・スクール)を推進しています。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



★熱心な「熟議」が行われました

委員の自己紹介の後、各クラスの授業を参観しました。次に、黒田校長先生より令和7年度の学校経営方針等についての説明、続いて石塚教頭先生より学校教育目標達成のための努力点・具体策についての説明があり、出席した委員全員が承認をいたしました。

授業参観では、子どもたちが真剣に全力で学習する姿や、グループで話し合う姿、先生方の熱心な指導の様子、タブレットが効果的に使われている様子を見ることができました。



～各委員から出た意見(○)や提案等(◆)の一部を紹介します～

【授業を参観して】

- 1年生が入学したばかりなのに、全体的に落ち着いていてすばらしい。
- 学年があがるにつれて、落ち着いた雰囲気で学習に取り組んでいた。
- 6年生の係の児童が、休み時間に「お笑いライブ」をやって友達を楽しませていた。主体的な児童の活動が素敵だった。
- 廊下のめあての掲示物が、めあてに対して「そのためにどんなことをすればよいか」まで書いていて優れている。
- どの子にも学びの居場所がある。副担任がいて、手厚い指導が行われている。
- Uルームは、行き渋り児童が増加している状況の中、自分らしく安心して過ごせる場所になっていてよいと思った。
- ◆Uルームは、大人が手厚くサポートする分、自分で課題解決をする力が弱まる場合がある。弱さに向き合っていった先に強さがあると思うので、安きに流されないように、児童が自己決定していく場をつくっていくことが大切である。
- ◆他県で不審者が侵入する事件があった。本校でも、非常時の体制構築や訓練が必要である。

【今年度の取組について】

- ◆「読書活動の推進について」
 - ・学校運営協議会委員による読み聞かせの見学を実施する。
 - ・SUNさんサポート隊で、「読み聞かせサポート隊」を立ち上げる。
- ◆「下校見守りについて」
 - ・下校時に水路近くに落としたものを取りに行こうとした児童がいて危険だった。危険な例を示しながら、地域の方に「ながら見守り隊」をさらにお願いできるとよい。

※今後の学校運営協議会は、第2回（10月31日）、第3回（2月20日）の予定です。よろしくお願ひします。